

1 検討方針

河川整備計画に位置付けられた碓氷川では、河床低下による課題が見られることから、河川整備計画審査会に「河床低下対策検討部会」を設置し、計画の策定や対策後の効果及び環境調査結果の検証を行う。

なお、計画の策定は、航空レーザ測量により現況河床を計測し、得られた地形データを基に検討する。

2 概略スケジュール

H29. 2. 7

河床低下対策検討部会の設置



H29. 2～5

航空レーザ測量による現状の把握



H29. 5～H30. 3

河床低下対策計画の策定

① 関係者による河床低下に伴う課題箇所の把握



② 箇所の選定及び環境調査実施



③ 対策箇所の優先順位及び構造の検討

「河床低下対策検討部会」で検討

H30. 4～（概ね5年）

河床低下対策工事の実施

（環境調査については、工事前と工事後に実施）



対策完了の翌年

モニタリング（概ねの対策完了後に航空レーザ測量を実施）



対策効果の検証

3 河床低下対策検討部会

①スケジュール(案)

	時期	提供する資料	伺いたい意見
第1回	H29. 6	・航空レーザの測量による 現況河床地形 ・過去の河床低下対策状況	・対策工事の実施箇所 ・環境調査（魚類・水生生物、水質等）の 種類、実施方法
第2回	H29. 10	・対策工事の全体計画 ・環境調査結果	・全体計画、環境調査の妥当性 （追加、修正の有無）
第3回	H29. 12	・対策工事の優先順位 ・対策箇所毎の構造図	・優先順位の確認 ・個別構造の妥当性（魚類・水生生物への 配慮は適切か）
H30以降	毎年1回	・進捗状況 ・環境調査結果	・計画、環境調査の検証

②河床低下対策検討部会の構成(案)

氏名	分野	役職
清水 義彦	河川工学	群馬大学大学院理工学府 教授
堀尾 明宏	水質	群馬工業高等専門学校環境都市工学科 教授
佐藤 敦彦	魚類	元水産試験場 場長
茶珍 護	水生生物	群馬県自然環境調査研究会 会員
吉澤 和具	漁業	元群馬県漁業協同組合連合会 専務理事